

# 【拡充】防災減災事業費

## 概要

- 農業用ため池等の機能強化を図り、自然災害による被害の未然防止を図るとともに、ソフト・ハードを組み合わせた防災減災対策を推進

予算額(当初): 4,530,040千円

事業期間: 昭和48年度～

## 背景/課題

### 背景

- H30年7月豪雨により西日本を中心に多くのため池が決壊
  - ・ 防災重点ため池ではない小規模なため池で甚大な被害が発生
  - ・ 上記を契機とした防災重点ため池の再選定の実施
- 全国的な豪雨(災害リスク)の増大
  - ・ 本県では、H30年8月の最上地域、R1年10月の置賜地域での記録的な豪雨により、農地・農業用施設に甚大な被害が発生するなど、災害リスクが増大

### 課題

- ため池の耐震診断及び必要に応じた耐震補強を推進
- 再選定により増加した防災重点ため池の防災減災対策の着実な実施
- 豪雨による溢水被害等を防止する用排水施設等の改修

## 事業内容

### 【ハード事業】

- ため池整備
  - ・ 自然災害を防止するために行うため池の整備
  - ・ 県営要件に満たない小規模なため池整備の団体営事業の制度新設  
【継続22地区、新規4地区】
- 用排水施設整備
  - 断面不足や老朽化した用排水路の改修  
【継続15地区、新規3地区】
- 農業用河川工作物応急対策
  - 老朽化等により不具合の生じている農業用河川工作物の改修、撤去  
【継続2地区】
- 特定農業用管水路等特別対策
  - 石綿等が使用されている農業用管水路等の撤去・改修  
【継続2地区、新規2地区】

### 【ソフト事業】

- ため池安全度調査  
ため池の耐震点検  
洪水吐能力の調査等  
【新規13箇所】

## 事業効果(例)

- 造成後約40年が経過し、経年劣化の著しい大江町の「最上堰頭首工」では、R1に改修整備を完了し、R1.10の台風第19号による最上川の増水においても被災を受けることなく、関係6市町の農地へ農業用水を供給している。
- 堤体からの漏水により決壊の恐れがあった上山市の「松沢ため池」では、H30に改修整備を完了し、安全・安心な環境で営農を継続している。

頭首工の整備例



【大江町ほか5市町】農業用河川工作物(頭首工)の整備

老朽ため池の改修例



【上山市】ため池堤体・取水施設の改修と洪水吐の整備

## 事業目標

・豪雨・耐震対策が講じられた規模の大きい防災重点ため池の箇所数 H30:38箇所⇒R8:91箇所

## 問い合わせ先

- 担当課: 農村整備課 防災担当
- 電話: 023-630-2497